# 第2次石巻市総合計画後期基本計画 [令和8年度~令和12年度]

委員意見を踏まえた 施策体系及び指標の変更(案)

<変更頁のみ抜粋>

#### 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進

4		可用と	1/J <sup>3</sup> <del>   </del>	· 守 (C <u>´</u>	土さるにめがカダ共同参画化云が推進				
		旨す 姿	誰もな	誰もがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち					
		主観	男女共同参画社会が推進されていると感じる市民の割合[単年]						
節	K G I	-4-	女性	女性の就業率(18歳~69歳)[単年] %					
	1	客観	女性	(理由) 女性が個性と能力を十分に発揮し、活躍するための環境を整備することが、男女共同参画社会の推進に必要であるため。					
			施	施策名 多様で柔軟な働き方を選択しやすい就労環境づくりを促進する					
			1) K	イクボ	ス宣言企業数[単年]	社			
			P	(理由) 育児休業や介護休業等を取得しやすい職場環境の改善、ワークライフバランスの実現を目指すため。					
			施	i策名	地域・学校における男女共同参画を推進する				
			17	自治会	会等役員に占める女性の割合[単年]	%			
		(2)	② K P I	1	) D多様な課題解決のためには、性別や年齢等を問わず、様々な市ってもらうことで、公正で多様性に富んだ活力ある地域社会を目指	-			
糸食	万								



	2	施策名		家庭生活における男女共同参画を推進する		
(2)	4	KPI	男性	Eの1日あたりの家事参画(1時間以上)率[単年]	%	

# 6 未来につなぐ震災伝承の推進

U				フ/よ 	一			
節		目指す 姿		東日本大震災による深い傷跡、悲しみの記憶及び震災を通じて得た教訓を風化させる ことなく後世に伝えるまち				
		主観	震災を後世に伝える取組が充実していると感じる市民の割合[単年]			%		
	K G I		設定なし			_		
	I	客観		• •	取組については、客観的な数値の積み上げによって成果を測るこ			
			施急	<b>策名</b>	震災伝承を推進する			
				震災	遺構来訪者数[単年]	人		
			K P I	<b>(理</b> 印 震災	<b>由)</b> の記憶や教訓を、広く伝えることを目指すため。			
			主な取組		の震災遺構を活用し、震災伝承の取組を推進する 災伝承活動を行っている個人や団体等と連携した支援活動を行う			
<b>新</b>	田				細節②を追加し、KPIを設定			
		2	施領	策名	伝承活動の担い手を育成する			
			KPl	[ 辞	的部・伝承者育成講座受講者数[単年]	人		

## 3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進

()	<u>/_</u>	<b>火</b> 土	二人人	いな仕塚児と郁甲機能の登伽の指				
		旨す	誰もが安心・快適に住み続けられるまち					
		主観	都市環境が充実し、暮らしやすいと感じる市民の割合[単年]					
節	K G I		設定なし					
	I	客観	(理由) 住環境と都市機能の整備を進める上では様々なハード整備に取り組むが、それ つの指標に数値化することが困難なため。					
			施策	名 住環境の向上を図る				
		(1)	K	市街化区域人口密度(災害危険区域等を除く)[単年]		人/ha		
			P I	<b>(理由)</b> 住環境の向上により、快適で便利な市街地形成を目指	すため。			
			施策	施策名 都市機能の向上を図る				
		2	K	都市機能の整備に満足している市民の割合[単年]		%		
		10)	P I	(理由) 市民が満足する都市機能・施設の整備を目指すため。				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	田			2つの細節を統合し、KPIを新たに	設定			
			施策	名 住みよいまちづくりを推進する				
			KPI	住環境及び都市機能の整備に満足している市民の割	割合[単年]	%		

#### 共に安心して暮らせる障害福祉の充実

					で名うこの「中日田田」			
		省す	誰もな	が認め	あい、支えあいながら、安心して自分らしく暮らせる共生のまち			
節		主観	障害者にやさしいまちづくりが推進されていると感じる市民の割合[単年]					
	K G I		設定なし					
	Ĭ	客 観		福祉分	・野は、個人の尊厳、自立、共生といった概念が深く関わっており、 が強いため。	数値化が		
			施第	<b></b>	障害への理解を深める			
		1	K	障害	ぎを理由とする差別に関する相談を受けた件数[単年]	件		
			P I	/→m . I . \				
			施货		施策名  相談支援体制を構築する			
	•		K	障害 [単 <sup>2</sup>		%		
*			2   K   P   I		曲) ケート調査を行った結果、今後必要な障害者施策として相談支援( ぎが求められているため。	本制の		
節				J	KPIを変更			
		1	施領	<b>兼名</b>	障害への理解を深める			
			KPI	障	害のある方の立場を理解して行動ができている市民の割合[単年]	%		

## 5 企業誘致の推進と新たな産業の創出

			C H/ J ,		1年2年にかけては1年1年			
節		当す	自分らしい生き方ができて、生産性が向上し、稼ぐ力のあるまち					
		主観	新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合[単年]					
	K G I				より創出された雇用人数(企業立地による新規雇用者、新規創業 従業員の和)[単年]	人		
	Ĭ	客観	企業	(理由) 企業誘致や新規創業および地域資源を生かした新たな産業の創出などによる新たな雇用の創出により、地元経済の活発化を目指すため。				
			施领	<b>兼名</b>	企業立地を促進する			
		1	K	市の	事業による企業立地件数(新設、増設、移設)[単年]	件		
			P (理由) 企業立地を促進することにより、雇用創出を目指すため。		•			
			施	施策名 新規創業を促進する				
				市の事業による新規創業件数[単年]				
細節		2			<b>由)</b> 別業を促進することにより、市内産業における多様性や競争性の創出を けため。			
					施策名・KPIを変更			
		2	施	策名	新規創業及び第二創業を促進する			
		<u> </u>	KPI	市	の事業による新規創業 <mark>及び第二創業</mark> 件数[単年]	件		

#### 4

### 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進

	目指す姿		地域ぐるみで子どもを育てるまち			
	K G I	主観	地域ぐるみで教育活動が行われていると感じる市民の割合[単年]	%		
節		客観	19歳人口、23歳人口、66歳人口それぞれの社会増減数[単年]	人		
			(理由) 児童生徒の郷土愛が育まれることにより、転出者の抑制を目指すため。 (人口の社会増減のタイミングである高校卒業後の19歳、大学卒業後の23歳、 職後の66歳を設定)	定年退		



<del>(ste</del>	IZOI.	主観	地域ぐるみで教育活動が行われていると感じる市民の割合[単年]	%
節	KGI	客観	19歳人口、23歳人口それぞれの社会増減数[単年]	人

#### 持続可能な行財政運営の推進

節		旨す	人口規模及び歳入規模に見合った行財政運営が推進されているまち						
		主観	効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合 [単年]						
	K G I		経常収支比率[単年] %						
		客観	(理由) 人口減少に伴い、身の丈に合った安定的かつ持続的な財政運営を目指すため。 ※経常収支比率とは 人件費、扶助費などの経常的経費に市税や普通交付税などを中心とする経常的収入がどの程度充当されているかという割合を示すもので、この数値が高いほど経常的歳入される一般財源に余裕がないことを示しており、市で80%、町村で75%を超える財政構造は弾力性を失いつつあると考えられている。						
			施策名	名 健全で持続可能な財政運営を行う					
				女調整基金残高[単年]	億円				
			I   経常	<b>!由)</b> 常収支比率を改善するためには、財政調整基金の取崩しを抑制し、適正だ 糞の残高を維持することが必要なため。					
			施策名	効率的かつ効果的な行政運営を行う					
		2	K 人口	11万人当たり職員数[単年]	人				
•	ш		P <b>(理</b> I 経常	<b>由)</b> 常収支比率を改善するには、人件費の抑制も重要な要素であるため	)。				
竹食	田			KPIを変更					
		2	施策名	効率的かつ効果的な行政運営を行う					
			KPI 石	「巻市職員定員適正化計画における目標達成率[単年]	%				